

平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月13日

上場会社名 ムトー精工株式会社
 コード番号 7927 URL <http://www.muto.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部担当
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 田中 肇
 (氏名) 金子 貞夫
 配当支払開始予定日

TEL 058(371)1100
 平成27年12月8日

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	11,795	12.1	△126	—	73	—	△17	—
27年3月期第2四半期	10,520	△14.7	△308	—	△217	—	△211	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △474百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 430百万円 (△2.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△2.37	—
27年3月期第2四半期	△29.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	24,419	14,689	56.5
27年3月期	24,574	15,221	58.4

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 13,794百万円 27年3月期 14,341百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
28年3月期	—	8.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	23,000	2.1	150	—	400	—	200	879.0
								27.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	7,739,548 株	27年3月期	7,739,548 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	552,622 株	27年3月期	552,547 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	7,186,964 株	27年3月期2Q	7,187,057 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、大企業の収益改善や訪日外国人の購買意欲に支えられ、引き続き回復傾向にあります。一方、中国の人民元切り下げによって、進行していた円安・株高に歯止めがかかり、景気減速の影響が出つつあります。

世界経済は、米国や欧州などの先進国で回復傾向にありますが、中国の株価下落と経済失速の影響により、アジア圏や新興国では低迷しております。また、TPP締結合意や独自動車メーカーにおける排ガス不正問題などの動向が、今後の世界経済へ多大な影響を与えると予想され、先行き不透明な状況が続いています。

当社を取り巻く業界では、AV関連においては、外国人観光客向けの家電やスマートフォンの新機種の販売が好調でしたが、中国向けスマートフォン部品の輸出が減少傾向にあります。自動車関連においては、軽自動車税増税に伴う駆け込み需要の反動から、国内販売の伸び悩みが続いておりますが、輸出は原油価格の下落を背景に、米国向けなどで増加に転じております。

このような経済環境のなか、当社グループにおきましては、生産合理化に伴う配置転換や人員削減等の固定費削減に取り組む一方、付加価値の高い金型外販の強化や医療関連製品など新規市場開拓を積極的に行いました。その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は117億9千5百万円と前年同四半期と比べ12億7千4百万円(12.1%)の増収、営業損失は1億2千6百万円(前年同四半期は営業損失3億8百万円)、経常利益は7千3百万円(前年同四半期は経常損失2億1千7百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は1千7百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失2億1千1百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① プラスチック成形事業

当セグメントにおきましては、前連結会計年度より取り組んでおります金型の販売強化により自動車向け外装部品をはじめ、血圧計や血糖値計など新規市場である医療分野においても金型製作・試作が順調に売上を伸ばしました。また、海外子会社において、欧米向け自動車関連部品、アジア圏のデジタルカメラ部品が金型・量産ともに売上を増やしております。その結果、当第2四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて104億2千5百万円と前年同四半期と比べ10億7千万円(11.4%)の増収となり、セグメント損失(営業損失)は1億6千5百万円(前年同四半期はセグメント損失(営業損失)2億7千万円)となりました。

② 精密プレス部品事業

当セグメントにおきましては、デジタル一眼レフカメラのフルモデルチェンジ時期にあたり前連結会計年度末から金型製作・試作の受注が増加しております。加えてクリスマス商戦に向けた新機種量産により売上は順調に推移いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて13億1千6百万円と前年同四半期と比べ2億4千9百万円(23.4%)の増収となり、積極的な固定費削減によりセグメント利益(営業利益)は3千5百万円(前年同四半期はセグメント損失(営業損失)6千1百万円)となりました。

③ プリント基板事業

当セグメントにおきましては、設計業務にて、パソコンやサーバー等の電子機器及び複写機に使用される高密度の電子回路基板(パッケージ基板)の配線設計は受注を大きく減らしております。検査業務におきましては、電波時計に使用される基板検査が減少した一方、パソコン等のパッケージ基板やフレキシブル基板の検査が順調に売上を伸ばしました。その結果、当第2四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて1億4千1百万円と前年同四半期と比べ1千8百万円(11.7%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は3百万円と前年同四半期と比べ1千9百万円(84.2%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間の財政状態は、流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1億1千6百万円増加し、145億8百万円となりました。受取手形及び売掛金が8億5千1百万円増加し、現金及び預金が2億4千1百万円、商品及び製品が4億1千5百万円それぞれ減少したことなどが主な要因です。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2億7千1百万円減少し、99億1千万円となりました。有形固定資産が2億2千9百万円、その他(投資その他の資産)が3千7百万円それぞれ減少したことなどが主な要因です。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ1億5千4百万円減少し、244億1千9百万円となりました。

また、流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ4億5千万円増加し、76億9千9百万円となりました。支払手形及び買掛金が3千万円、短期借入金が3千万円、1年内返済予定の長期借入金が7千5百万円、その他(流動負債)が3億4百万円それぞれ増加したことなどが主な要因です。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ7千3百万円減少し、20億2千9百万円となりました。役員退職慰労引当金が7千6百万円減少したことなどが主な要因です。

この結果、負債の部は、前連結会計年度末に比べ3億7千6百万円増加し、97億2千9百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ5億3千1百万円減少し、146億8千9百万円となりました。為替換算調整勘定が5億1千9百万円減少したことなどが主な要因です。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、42億8千1百万円となり、前年同四半期と比べ4億2千5百万円(11.0%)増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前四半期純利益7千4百万円、非資金費用である減価償却費7億9千7百万円、たな卸資産の減少額1億5千6百万円、仕入債務の増加額1億4千9百万円及び売上債権の増加額8億5千6百万円、法人税等の支払額6千3百万円などにより、営業活動全体として3億7千7百万円の収入となり、前年同四半期と比べ1億2千9百万円(52.5%)の増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、有価証券の純減額9千3百万円、有形固定資産の取得による支出7億2千8百万円などにより、投資活動全体として5億9千7百万円の支出となり、前年同四半期と比べ支出が6千5百万円(9.9%)の減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、短期借入金の純増額1億9千3百万円、長期借入れによる収入6億円及び長期借入金の返済による支出5億1千9百万円、配当金の支払額5千7百万円などにより、財務活動全体として2億1千1百万円の収入(前年同四半期は1億5千8百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績の進捗状況等を勘案し、平成27年5月15日に公表いたしました平成28年3月期の連結業績予想を変更しております。詳細につきましては、本日(平成27年11月13日)公表の「平成28年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績の差異、及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

海外連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,853,417	4,612,161
受取手形及び売掛金	4,124,360	4,976,092
電子記録債権	678,267	490,233
有価証券	202,005	106,176
商品及び製品	1,196,303	780,499
仕掛品	1,076,537	1,153,519
原材料及び貯蔵品	1,563,366	1,626,979
未収入金	274,352	286,204
繰延税金資産	39,044	45,243
その他	385,336	432,284
貸倒引当金	△1,337	△1,214
流動資産合計	14,391,654	14,508,179
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,120,980	2,881,217
機械装置及び運搬具(純額)	3,520,653	3,271,695
土地	1,566,834	1,537,087
建設仮勘定	186,711	240,092
その他(純額)	865,622	1,101,500
有形固定資産合計	9,260,802	9,031,592
無形固定資産	296,438	284,505
投資その他の資産		
投資有価証券	328,574	335,383
繰延税金資産	2,238	2,329
その他	297,274	260,046
貸倒引当金	△2,885	△2,885
投資その他の資産合計	625,202	594,874
固定資産合計	10,182,444	9,910,972
資産合計	24,574,099	24,419,151

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,771,962	2,802,856
短期借入金	2,565,077	2,596,000
1年内返済予定の長期借入金	977,194	1,053,126
未払法人税等	63,911	45,328
賞与引当金	177,287	204,652
その他	693,830	997,860
流動負債合計	7,249,263	7,699,823
固定負債		
長期借入金	1,679,417	1,684,265
繰延税金負債	24,841	24,701
役員退職慰労引当金	197,440	120,443
退職給付に係る負債	196,110	197,922
その他	5,835	2,354
固定負債合計	2,103,644	2,029,687
負債合計	9,352,907	9,729,510
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,188,960	2,188,960
資本剰余金	2,235,713	2,235,713
利益剰余金	9,268,479	9,193,980
自己株式	△397,670	△397,716
株主資本合計	13,295,481	13,220,937
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	93,518	140,077
為替換算調整勘定	952,884	433,286
その他の包括利益累計額合計	1,046,403	573,363
非支配株主持分	879,305	895,339
純資産合計	15,221,191	14,689,641
負債純資産合計	24,574,099	24,419,151

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	10,520,903	11,795,302
売上原価	9,311,167	10,264,326
売上総利益	1,209,735	1,530,975
販売費及び一般管理費	1,518,426	1,657,083
営業損失(△)	△308,691	△126,107
営業外収益		
受取利息	19,360	27,148
受取配当金	3,290	2,668
為替差益	64,488	171,890
その他	23,690	19,292
営業外収益合計	110,830	220,999
営業外費用		
支払利息	19,244	21,080
その他	-	12
営業外費用合計	19,244	21,093
経常利益又は経常損失(△)	△217,106	73,798
特別利益		
固定資産売却益	760	5,260
特別利益合計	760	5,260
特別損失		
固定資産売却損	9	-
固定資産除却損	708	4,116
投資有価証券売却損	450	-
特別損失合計	1,168	4,116
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△217,514	74,942
法人税等	44,230	55,040
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△261,745	19,902
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支 配株主に帰属する四半期純損失(△)	△50,357	36,904
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△211,387	△17,002

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△261,745	19,902
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29,873	46,558
為替換算調整勘定	662,709	△540,469
その他の包括利益合計	692,583	△493,910
四半期包括利益	430,837	△474,008
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	428,092	△490,042
非支配株主に係る四半期包括利益	2,745	16,034

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△217,514	74,942
減価償却費	788,057	797,779
有形固定資産除却損	708	4,116
貸倒引当金の増減額(△は減少)	240	△123
賞与引当金の増減額(△は減少)	△21,267	32,774
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	7,441	△76,997
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	9,352	7,278
受取利息及び受取配当金	△22,650	△29,816
支払利息	19,244	21,080
投資有価証券売却損益(△は益)	450	-
有形固定資産売却損益(△は益)	△750	△5,260
売上債権の増減額(△は増加)	△552,872	△856,791
たな卸資産の増減額(△は増加)	△507,251	156,451
仕入債務の増減額(△は減少)	801,475	149,587
未払消費税等の増減額(△は減少)	39,253	△29,523
その他	△45,046	182,880
小計	298,872	428,378
利息及び配当金の受取額	22,652	29,830
利息の支払額	△18,671	△20,541
法人税等の支払額	△56,409	△63,113
法人税等の還付額	802	2,557
営業活動によるキャッシュ・フロー	247,245	377,111
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△486,881	△691,916
定期預金の払戻による収入	327,995	730,515
有価証券の純増減額(△は増加)	-	93,928
有形固定資産の取得による支出	△501,205	△728,075
有形固定資産の売却による収入	908	21,125
無形固定資産の取得による支出	△4,287	△21,632
投資有価証券の取得による支出	△20,721	△636
投資有価証券の償還による収入	20,000	-
その他	1,272	△778
投資活動によるキャッシュ・フロー	△662,918	△597,469
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	383,443	193,973
長期借入れによる収入	-	600,000
長期借入金の返済による支出	△464,220	△519,220
自己株式の取得による支出	△82	△45
配当金の支払額	△57,897	△57,426
非支配株主への配当金の支払額	△13,542	△1,668
その他	△5,868	△3,766
財務活動によるキャッシュ・フロー	△158,167	211,846
現金及び現金同等物に係る換算差額	205,332	△213,844
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△368,508	△222,356
現金及び現金同等物の期首残高	4,224,528	4,503,763
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,856,020	4,281,407

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,334,156	1,032,422	154,324	10,520,903	—	10,520,903
セグメント間の内部 売上高又は振替高	20,881	34,418	6,156	61,455	△61,455	—
計	9,355,038	1,066,840	160,480	10,582,358	△61,455	10,520,903
セグメント利益又は損失(△)	△270,583	△61,711	23,603	△308,691	—	△308,691

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,411,637	1,248,248	135,415	11,795,302	—	11,795,302
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13,433	67,778	6,338	87,550	△87,550	—
計	10,425,071	1,316,027	141,754	11,882,853	△87,550	11,795,302
セグメント利益又は損失(△)	△165,063	35,221	3,734	△126,107	—	△126,107

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。